

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 2

平成24年11月5日発行

東京都杉並区梅里 1-22-32[社会教育センター内]TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.11

2回のだがしや楽校、お疲れさまでした！

10月29日
昼コース

新しい人との出会いは 学びのきっかけ



ニコニコだがしや楽校の全体をふりかえって

自らをふりかえって

- ・地域活動にデビュー。・路上パフォーマンスの課題。
- ・人との関わり方を学んだ。・関わりってすごいと思った。
- ・喜ばれるものを準備することの大切さ。
- ・色々な方がいてとても楽しいイベントだった。
- ・久しぶりに童心に帰ることができた。
- ・新しい仲間ができたことを嬉しく思います。
- ・人を集める方法をもう少し考えなくてはいけないと思った。
- ・人は見かけだけでは判断できないと改めて感じた。
- ・折り紙ひとつ配るのでも会話が始まった。
- ・それぞれの人が違った考えで楽校を運営していた。
- ・折り紙でディスプレイ等を一貫して作成でき、満足した。

仲間のふりかえりからの気づき

- ・人は死ぬまで成長する。・物売る際のお金の問題
- ・一緒に作って持ち帰られる楽しさ
- ・人生の中には、仲間と主体的に共同してひとつの物を作り上げるという素敵な楽しみ方や時間があることに気づいた。
- ・「作品」を「商品」に変身させることの難しさ。
- ・バルーンや折り紙を作っている子どもさん、とてもいい顔でした。
- ・室内のイベントと屋外のイベントの違い。
- ・それぞれの方が今までの人生で体験してきたことをどのような場で発揮できるのかと思っています。
- ・人が人を呼ぶような仕掛けの必要性。
- ・楽しいの循環になっていた。・事前準備の大切さ。
- ・全員で楽しんでいたので自分も楽しいのだと思いました。

24.10.29「私のガッコウ・ノート」
受講生記述より抜粋

2回のニコニコだがしや楽校が終わってはじめての講座。まずは、全体を通してのふりかえり(上記参照)。また、事前に配布した自由作文ノートにも、「(食べ物を出店したため)日が当たり、かびて不良品にならないかと心配でした」や「(だがしや楽校が)僕の世界を大きく拡大してくれた」といったふりかえりがあった。ゆるいイベントでも開催する難しさや地域の方とお話する楽しさなど、各々の学びを実感した言葉が記されていた。

今後は、これまでの講座やだがしやの実践を通して学んだことを、さらに自分の関心に沿って小グループに分かれ、それぞれ考えていく。学習支援者の松田さんからはグループの方向として、お店系、作品系、企画系、地域系、イベント系、議論系の6つの小グループの提案がなされた。実際に、次回講座から分かれて活動していく。さて、あなたの関心は？(坂本)



左：バルーンアートにハマった受講生の遠藤さんが作ったフクロウ、うさぎなど

右：受講生の斉藤昭雄さんが作った紙人形

今月の大人“^{じゅく}塾^と人”

大人塾に参加中の...イカした！大人たちに聞きました！

出身 座右の銘、好きな言葉 自分のつながりPR



斉藤 香織

杉並区久我山
一期一会
野菜ソムリエの知識を生かして、高知県四万十市の特産物をたくさんの人に紹介していきたいと思っています。



安野 恵子

東京都
「夢見る時は楽しい」(松下幸之助)
何につけ、段取りは上手ですよ。何かやりたい時はお声かけてくださいネ。



□すぎなみ大人“熟”してる？の発行にあたって□

この新聞は事務局スタッフ松坂・坂本・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。